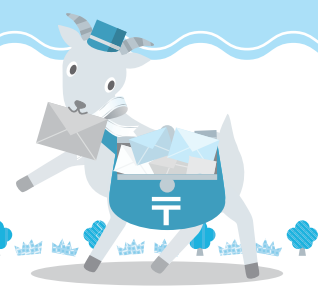


児童館だより

児童館は、児童に健全な遊び場・機会を提供し、子どもが心身ともに豊かな発達ができるように支援するところです。行事の詳しい内容は各児童館にお問い合わせください。なお、合志市子育てサイトに各児童館だよりを掲載しています。

合志市子育てサイト
http://kosodate.city.koshi.lg.jp/

※お金やゲーム機など貴重品は持ってこないように、また、持たせないようにしてください。



東児童館 ☎248-5203

開館時間／午前8時30分～正午 午後1時～5時
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

スノードームを作ってみよう

- とき 2月17日(日) 午後1時30分～3時
- 定員 先着10人程度(幼児は保護者同伴)
- 参加費 100円
- 内容 空き瓶の中に小さなオブジェやスパンコール・ラメなどを入れてキラキラおしゃべりなスノードームを作りましょう。
- 申込開始 2月1日(金) 午前10時～

- 申込方法 児童館窓口または電話でお申し込みください。(参加費は当日集めます)



泉ヶ丘市民センター児童館 ☎248-3453

開館時間／午前8時30分～正午 午後1時～5時
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

めちゃうま 冬の子どもクッキング チョコパイ

- とき 2月23日(土) 午前10時～正午
- 対象 小学生
- 定員 先着15人
- 参加費 200円
- 内容 甘くておいしい人気のチョコパイをこどもも作ります。
- 申込開始 2月9日(土) 午前10時～

- 申込方法 児童館窓口または電話で、本人か保護者がお申し込みください。(代理での申し込み不可)
- ※参加費入金後、本予約となります。
※キャンセルの場合、返金できませんのでご了承ください。

西児童館 (ふれあい館内) ☎242-7008

開館時間／月～土曜日 午前8時30分～午後5時15分
日曜日 午前9時～午後5時15分
休館日／祝日、第4月曜日

和菓子をつくってみよう

- とき 2月9日(土) 午前10時～正午
 - ところ ふれあい館
 - 対象 4歳～高校生(幼児は保護者同伴)
 - 定員 先着20人
 - 参加費 1人300円
 - 内容 和洋菓子店大盛堂(須屋)から練りきりの和菓子作りを教えてください。
 - 持ってくるもの エプロン、三角巾、飲み物
 - 申込開始 1月24日(木) 午前9時～
- ※ふれあい館窓口で入金後、本予約となります。(電話での仮予約可)

ドラムにチャレンジ

- とき 2月23日(土) 午後1時30分～4時
- ところ ふれあい館
- 対象 小学4年生～高校生
- 定員 先着10人程度
- 参加費 無料
- 内容 ドラムの基本を講師から学び、みんなで音楽を楽しみます。ギターも教えてください。(初心者大歓迎)
- 持ってくるもの タオル、飲み物、スティック(持っている人のみ)
- 申込開始 1月28日(月) 午前9時～
- 申込方法 ふれあい館窓口または電話でお申し込みください。



ヴィーブル & コミュニティ 情報

申し込み・問い合わせ先 ヴィーブル ☎248-5555

トレーニングルームと歴史資料館は点検のため、1月31日(木)が休館日です。

ヴィーブルのステージで歌いませんか♪ ドレミの広場 コーラス隊募集

4月28日(日)に開催する市民手作りの音楽祭「ドレミの広場」のオープニングコーラス隊を募集します。

- 練習日程(3月から開始予定)
水曜日 午後7時30分～9時
土曜日 午前10時～11時30分
- ところ ヴィーブル
- 内容 「ドレミの歌」「ビリーブ」ほか合唱
- 対象 練習にできるだけ参加できる人
- 定員 50人程度
- 参加費 無料
- 申込方法 2月15日(金)までにヴィーブルへ電話でお申し込みください。



1月の市民講座 いきいき健康講座

誰にでも分かりやすく、大腸がんに関する基礎情報から早期発見の大事さを紹介します。

- 皆さんお誘いの上、ぜひご参加ください。
- とき 1月25日(金) 午前10時～(受付 午前9時30分)
 - ところ ヴィーブル 文化会館
 - 内容 「大腸がん早期発見のために～検診から治療まで～」
 - 講師 大腸肛門センター高野病院医長 内視鏡センター長 中村 寧さん

※市の送迎バスがあります。詳しくはお問い合わせください。



マンガを読もう! 観よう!! 学ぼう!!!
合志マンガミュージアムだより

館長のマンガのすゝめ(第16回)

「風と木の詩」 作 竹宮恵子(小学館発行)



- (館長) マンガミュージアムスタッフ(ス)
- 「マンガミュージアムで『ばふ』の時代展」が開催中です。『ばふ』って何ですか。」
- (館) 「私がマンガの世界に足を踏み入れた1970年代、マンガ情報誌の代表的存在が『ばふ』だったんだ」
- 「ネットがない時代に、マンガ読者に大きな影響を与えた雑誌なんですね」

●(館) 『風と木の詩』は、少年愛をテーマとした当時としてはセンセーショナルな作品。これが『ばふ』誌上で、萩尾望都らの作品とともに少女マンガに革命をもたらしたと高く評価された。少女マンガが広く男性にも読まれるようになったのもこの雑誌の影響なんだよ」

●問い合わせ先 合志マンガミュージアム ☎273-6766 ※1・2月の休館日は、31ページのお知らせカレンダーをご覧ください。

●合志マンガ義塾(事前申込不要。受講には1日入場券か年間パスポートの提示が必要です)

1月19日(土) 午後1時30分～3時
マンガ研究誌とその時代(1)
ー『漫画主義』から『ばふ』までー

2月9日(土) 午後1時30分～3時
マンガ研究誌とその時代(2)
ー『ばふ』からファンZINEまでー

2月23日(土)に当館で開催するシンポジウム『ばふ』の時代』に先立ち、『漫画主義』『ばふ』『COMIC BOX』など、1960年代から現在までのマンガ研究・批評誌の歴史を2回シリーズでたどります。(講師:橋本博館長)

●ワークショップ

1月20日(日) 午後1時30分～3時
2月11日(月) 午後1時30分～3時
つけペン体験教室(材料代200円、事前申込不要、先着10人、午後1時～受付・整理券配布)

特別展 『ばふ』の時代展

3月24日(日)まで開催中。
昭和54年～平成23年まで発行された月刊マンガ情報誌『ばふ』の歩みをご紹介します。